

2010年7月吉日

高等学校長 殿

日本畜産学会第113回大会長
東京農業大学 農学部 教授
門司 恭典

畜産学会での高校生の研究発表コンクールへの応募依頼

拝啓 盛夏の候、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平素は本学並びに本学の学生に対し格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度(社)日本畜産学会第113回大会を東京農業大学農学部厚木キャンパス(神奈川県厚木市船子)にて2011年3月26~29日に開催する運びとなり、現在準備を進めております。

本大会では、昨年3月の日本大学藤沢キャンパスでの第110回大会、今年3月の明治大学駿河台校舎での第112回大会に引き続き、高校生を対象とした研究・調査等の発表会を企画しております。ご承知の通り、地球規模での環境問題、食料問題、エネルギー問題等が相互に関連し合いながら急速に深刻化しています。国内におきましても、政治家やマスコミが食料自給の重要性を訴える声が増大しつつあります。畜産を取り巻く状況の改善や食糧自給についてもその重要性が益々増大しており、高校生にもこのような問題に関心を持って頂きたいと願っております。

日本畜産学会は畜産領域の研究者が中心となって運営している学会ですが、畜産学は広範囲の分野を含む総合科学であり、急速に発展している生命科学等を土台として基礎から応用までの広い領域をカバーしながら進展しています。すなわち、ヒトの役に立つ動物を対象とした基礎生物学から医学・薬学、生産科学、畜産食品・加工、経営・経済さらには環境科学などまでを含む幅広い研究者を擁する学術団体です。

既に畜産分野にご興味・関心をお持ちの生徒さんのみならず、将来の可能性を秘めて進路を模索している多くの高校生の皆さんにも、このような問題に直接・間接的に関連した課題、あるいはその基礎学に関連した研究(調査、実験、資料を調べた成果等)を発表して頂き、それを契機に将来の農業食料・環境問題やその関連産業の発展、あるいはその基礎となる研究などに貢献できる人材に大きく育てて欲しいと願い、またその情報の発信の機会にもしたいと考えております。

本コンクール(発表会)開催の趣旨をご理解いただき、なにとぞ関連のあるサークル活動をしている生徒のみならず、大勢の高校生に、ご参加いただけますようご高配をお願い申し上げます。

敬具